

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-10 交通安全施設整備事業				ザイムスコード及び個別事業名			
	□支援部門				878(経常)	ガードレール塗装等維持修繕委託		
主管課	道路整備課		関連課		"	道路ライン等設置業務委託		
分野名	道路整備				879(経常)	交通安全施設整備工事		
目標 (目標値)	歩行者の安全対策				"	歩道段差切下げ箇所		
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	人口	176,669人	176,484人					
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯					
運営資源 状況	決算値	63,057千円	30,221千円					
	(国・県)	23,540千円	8,711千円	指標と評価				
	(負担金等)			指標	歩道段差切下げ箇所			
	(一般財源)	39,517千円	21,510千円	評価	◎			
	人員配置数	2.6人	1.9人	◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退				
	人件費	23,952千円	17,817千円		目標値	実績値		
	協働の パートナー							
事務事業 運営経費	総事業費	87,009千円	48,038千円	20年度	20箇所	36箇所		
	市民1人当 りの経費	492円	272円	21年度	20箇所	121箇所		
	対象者1人 当りの経費			22年度	20箇所			
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名			23年度	20箇所			
				最終年度 (年度)	20箇所			
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・事故防止対策及び交通の円滑化において、交通安全施設の整備は急務であるが、道路区域(道路幅員等)等の個々固有の現場状況がある中での対応には限界があり、苦慮している。						
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・個々固有の現場状況において、実施可能でかつ有効な対策を実施したことにより、交通の円滑化及び事故の防止が図られた。						
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・懸案事業数が多く、実施項目も多岐にわたることから、整備には、長い期間と多額の費用が必要となり、実施すべき案件全ての完了には至っていない。						
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・整備を継続して進めるにあたり、計画的かつ効果的に交通の円滑化及び安全性の確保に向けて、創意工夫しながら交通安全施設の整備改修に努める。						
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)				
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了								
評価結果	改善の必要性	歩行者の安全対策についての市民要望は多いが、歩道新設等の施設整備には、用地買収が必要不可欠であり、早期実現が難しい状況にあるため、当面、実施可能な対策を実施しながら、事業の充実、拡大を図る。			評価結果	改善の必要性	歩行空間のバリアフリー化をはじめとする、ユニバーサルデザインの導入を視野に入れ、交通安全施設整備の充実拡大に取り組む。	
A	有				A	有		
課長名		道路整備課長 館下優三			部名・部長名		都市整備部 山内廣行	